

2013.10.17

# 病院理事長ら所得隠し

## 大阪国税指摘 兄弟3人計28億円

大阪府内で病院などを運営する医療法人「恒昭会」（同府茨木市）をめぐり、理事長の小山郁夫氏とその兄弟計3人が大阪国税局から計約28億円の所得隠しを指摘されたことがわかった。傘下の病院から配当金を受け取る際に関連会社を介在させ、所得として申告しなかつたと認定された。

関連会社分も含め申告漏れの総額は昨年3月までの約5年間で約50億円に上り、重加算税などを含め計十数億円を追徴課税されたとみられる。

ほかに所得隠しの指摘を受けたのは、大学や高校を運営する学校法人「藍野学園」理事長の小山英夫氏といい戻しに伴う配当も関連

高齢者や障害者の福祉施設を運営する社会福祉法人「藍野福祉会」理事長の小山康夫氏。3人は課税処分を不服として国税局に異議を申し立てている。代理人の弁護士は「何も答えられない」としている。

恒昭会は、茨木市の「藍野病院」など府内8カ所で病院や診療所、訪問看護ステーションを運営。関連する学校法人や社会福祉法人と合わせ「藍野グループ」とも呼ばれ、恒昭会はその中核的な法人とされる。

関係者によると、恒昭会側は、同会が運営する病院に恒昭会の関連会社が出資する形をとり、出資金の払い戻しに伴う配当も関連

（水沢健二）

# 病院理事長ら所得隠し

## 藍野グループ 親族3人で28億円

### 大阪国税指摘

大阪府茨木市を中心とした3人と関係会社が大阪国の申告漏れを指摘されたこと。これが17日、分かった。

うち約28億円分は仮装・隠蔽を伴う悪質な所得隠として重加算税の対象となり、追徴税額は十数億円に上るとみられる。

幹部側は国税当局に異議を申し立てている。指摘を受けた幹部は医事長ら3人に帰属し、個人所得に当たると判断したという。

東大阪市の病院を約20億円で買収した際、小山理事長側が設立した大阪市内の関係会社が病院側に出資する形をとった。その後、病院は売却され、関係会社が出資分など約28億円を受け取ったが、同国税局はこれが小山理事長ら3人に帰属し、個人所得に当たると判断したという。

グループが2007年、藍野関係者によると、藍野

療法人「恒昭会」（茨木市）の小山郁夫理事長とその親族2人。